

広 報 く に み

KUNIMI

12

2023

No. 605

Cover

今月の表紙は、鹿島神社例大祭の様子です。祭りの期間中は、軽快なお囃子の音色とともに、神輿や色とりどりの山車が町内を練り歩き、多くの人たちを魅了しました。激しい「もみ合い」を終えた神輿が鹿島神社へ還御すると、その様子を見守っていた参加者たちは、お互いの健闘を笑顔でたたえ合いました。

Contents

- 02 … 令和5年度国見町表彰式
- 04 … 鹿島神社例大祭
- 06 … タウンミーティング
- 15 … 国見町ソフトボールチーム準優勝
- 18 … まちのわだい ほか

令和5年度国見町表彰式 永年の功績をたたえて



▲表彰式に出席された皆さん

令和5年度国見町表彰式が11月20日、観月台文化センターで行われました。表彰式では、引地真町長が「表彰を受けられる皆さまに心からの敬意を表するとともに、これまでの活動を支えてくださったご家族やご関係の皆さまに感謝申し上げます。今後も種々の課題に取り組む国見町と町民のため、その卓見をもって、さらなるご支援をお願い申し上げます」と式辞を述べ、受賞者を表彰しました。

来賓祝辞の後、受賞者を代表して佐藤司さんが「この感激を忘れることなく、これからの国見町のさらなる発展を願い、力を尽くしてまいります」と謝辞を述べました。

町表彰式は昭和42年以来、町の発展に貢献され、顕著な功績があった方々をたたえるために毎年行われています。

国見町表彰条例に基づき、表彰審査会で審査した結果、今年は13個人・1団体が表彰されました。



◀表彰を受けられる皆さん

特別功労表彰

町の振興に特別な功労や特に功績が顕著な方などを表彰するものです。

功労表彰

町政の発展向上などに寄与し、功績が顕著であった方や多額の金品などを町に寄附した方などを表彰するものです。

荣誉顕彰

学術、芸術、スポーツ等において、町の名声を高め町民の誇りとなる抜群の成績を挙げた団体又は個人に対し、その荣誉をたたえ顕彰するものです。

特別功労表彰

佐藤司さん

— 商工業振興 —
19年にわたり、福島職業訓練技能協会に所属し、令和5年5月から同協会会長を務めています。

その多大なる功績から令和5年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

高橋昭一さん

— 消防防災 —
36年にわたり、国見町消防団第1分団第3分団員、班長、部長、副分団長、分団長を歴任。

これまでの地域消防・防災活動が認められ、令和5年春の叙勲で瑞宝単光章を受章されました。

岡崎長市さん

— 商工業振興 —
47年にわたり、国見町商工会において青年部長、理事、副会長、会長を歴任。

これまでの商工業振興活動が認められ、令和5年秋の叙勲で旭日単光章を受章されました。

奥山廣一さん

— 地方自治 —
22年にわたり、源宗山東町内会長として、町と町民との相互連携を図り、円滑な町政運営に貢献されています。

渋谷福重さん

— 農業振興・地方自治 —
21年にわたり、国見町農業委員会委員、会長として町の農業振興に尽力。
さらに、12年にわたり国見町議会議員として地方自治の伸長発展に貢献され、平成26年には国見町功労表彰を受賞されています。

功労表彰

佐藤定男さん

— 地方自治 —
12年にわたり、国見町議会議員、令和5年6月から国見町議会議長として、地方自治の伸長発展に貢献されています。

菅野俊光さん

— 地方自治 —
12年にわたり、国見町固定資産評価審査委員会委員として、固定資産評価額の適正かつ公平な評価に貢献されています。

八島富一さん

— 農業振興 —
14年にわたり、国見町農業委員会委員、令和5年7月から同委員会会長として、町の農業振興に尽力されています。

佐藤浩信さん

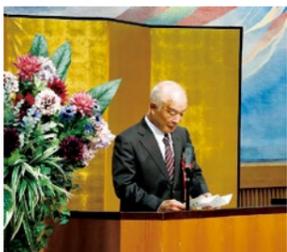
— 農業振興 —
12年にわたり、国見町農業委員会委員として町の農業振興に尽力されています。

佐藤恵美子さん

— 保健増進 —
14年にわたり、国見町健康推進員として地域福祉の向上に尽力されています。

澁谷陽子さん

— 体育振興 —
15年にわたり、国見町スポーツ推進委員、令和3年4月からスポーツ推進委員長としてスポーツの振興に尽力されています。



▲謝辞を述べる佐藤司さん

荣誉顕彰

佐藤温史さん

— スポーツ —
国見町駅伝競走部に所属し、町が初めて参加した第2回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会に出場し、令和4年には同大会連続30回出場賞を受賞。
さらに、国見町駅伝競走部の監督に就任し、小学生を対象にした「ランニング教室」を開講するなど、町の陸上選手の育成強化に貢献されています。

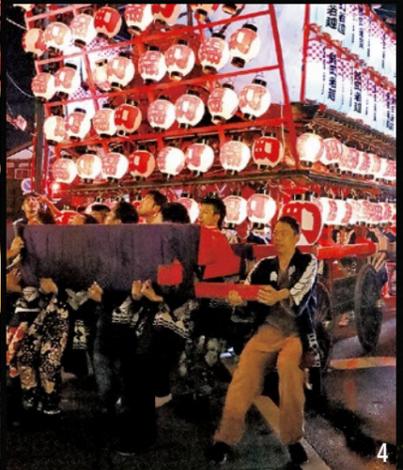
第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会 国見町チーム

— スポーツ —
第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会で数々の強豪を下し、準優勝という輝かしい成績を残しました。町チームの決勝進出は大会初の快挙です。

佐藤夏輝さん

— 芸術文化 —
令和5年度の明るい選挙啓発ポスターコンクール中央審査において、最高賞となる文部科学大臣・総務大臣賞を受賞。
同コンクールには全国の小学校、高校、支援学校の児童生徒から10万点を超える応募があり、福島県での受賞は5年ぶりの快挙です。

国見町重要無形文化財 鹿島神社例大祭



1_押し負けないように力を込める 2_軽快なお囃子が祭りを盛り上げる 3_真剣な表情で舞う稚児たち 4_山車を自由自在に操る若連衆(錦町) 5_迫力ある「もみ合い」に沿道から歓声があがる(本町) 6_若連衆の勇ましい掛け声が響き渡る(社元) 7_神輿の「宮入り」で祭りの盛り上がりは最高潮に 8_閉祭後も祭りの興奮は冷めない 9_何でもぶつかり合う山車と神輿(大町) 10_渾身の力を込めて山車を押す

国見町を代表する秋祭り「鹿島神社例大祭」が10月27日から28日にかけて、旧奥州街道藤田宿を中心に行われました。昨年は、コロナ禍の影響で規模を縮小しての実施でしたが、今年は子どもたちも参加し、以前と変わらない賑やかな祭りの風景が戻ってきました。

祭りの期間中は、軽快なお囃子の音色とともに神輿と4町若連の山車、稚児行列が町内を練り歩き、多くの人を魅了しました。

28日夜には、祭最大の見どころである「もみ合い」が行われました。2台の山車が、神輿を挟んで激しくぶつかり合う様子を間近で見ようと、多くの見物客が沿道に詰めかけました。

若連衆の勇壮な掛け声と、山車と神輿が何度もぶつかり合う轟音が響き渡るたびに、大きな歓声と拍手があがり、祭りの盛り上がりは最高潮に。大勢の観客が見守るなか神輿が鹿島神社へ還御を終えると、町は静寂に包まれ、祭りの幕が下ろされました。



まちの未来を考えよう

タウンミーティング



町では9月21日から11月16日まで、12回のタウンミーティングを開催し、町民の皆さんと引地真町長が意見交換を行いました。タウンミーティングでは、異なる年代や職業、立場の方から多くの意見や要望をいただきました。その中の一部ではありますが、第6次国見町総合計画に示されている、「6つのまちづくり」にごお知らせします。

タウンミーティングとは

タウンミーティングとは、町民の皆さんと町長が町の課題や未来について直接語る集会のことで、誰でも参加できる対話型の集会のことです。

直接対話で町政への理解を深めていただくとともに、町民の皆さんの意見を施策に反映させることを目的に開催します。



健やかに暮らせるまちづくり

問 高齢者が免許返納した場合の補助は。

答 免許返納の際に1万円のタクシー券を配布しています。(10月からタクシー利用券補助の実証事業も始めました)

問 町内の医院が無くなる可能性がある。町の対策を要望する。
答 県町村会でも地域医療の確保を国、県、国会議員へ働きかけています。

問 公立藤田総合病院に産婦人科を開設する考えはないのか。
答 県立医大は、日赤病院に派遣していた産婦人科医を引き上げたため、日赤の産婦人科が無くなりました。関係機関と協議します。

問 町の健診で、有料でもいいので検査項目を増やすことはできるのか。

答 震災以前の状況に戻すには再建築するしかなく、膨大な費用がかかるため困難です。

問 山崎館と山崎北の公民館が地震により使用できなくなった。震により使用できなくなった。公民館の隣に屯所があり、建て替えの話があるが、その詰め所を大きくして町内会が活用することはできないのか。
答 消防屯所は町村合併以前に建設されたものです。老朽化しているため消防団と更新の協議をしています。一方、集会所の建設は、町が費用の一部を補助する制度がありますが、地元が費用を負担し合って建設することが基本です。地区で協議した後、町内会経由で相談ください。

問 高齢者が多くの人と交流できるように、交通の利便性を確保してほしい。タクシー補助とはにか。

問 観月台の体育館再築を空調整備で。避難所が観月台文化センターでは、他業務に支障をきたすのではないのか。

答 非常時、観月台文化センターの利用に制約が出るのは避けられません。昨年のタウンミーティングでは、再築するならば利用しやすい体育館を、との声が多数でした。一方、町には他の町村に比べても多い5つの体育館がありますが、設備は古いものです。今の基準に合う新たな体育館を建設しながら、集約していくことも検討しなくてはいけない時期です。利用者の要望、場所と併せ財源も検討します。

問 観月台文化センターの展望台は改修しないのか。

答 東日本大震災以降、倒れないように鋼鉄製パイプで補強し

水費の高騰などに対応するため、昨年から定額の助成をしています。今年度も同様の対応をします。今後も状況を確認しながら対応します。

安全・安心な優しいまちづくり

問 駅前、商店街の街灯が暗いので、町のイメージアップのためにも明るくしてほしい。
答 LEDに更新して照度が上がるのであれば検討したい。商工会と一緒に活用できる補助金を探します。

問 商店街の更地を町が買い取り、利活用してはどうか。
答 個人所有の土地は、個人の判断で活用策を決めることが原則です。ただし、行政としても何らかの策は検討します。

問 文化センター体育館解体後の避難場所の確保をお願いしたい。
答 観月台文化センターと国見小学校体育館が避難所に指定さ

答 オプションとして追加できる検診項目があります。

問 若い母親と地域の接点が少ないので、空き家などを活用した居場所づくりの検討を。
答 来年度見直しをする子ども・子育て計画の中で検討しています。

問 国見町にもみんなが楽しく集まれるような場所があるとよい。
答 誰もが使える多目的施設は必要だと思えます。過疎債を活用することも検討します。

問 敬老会で、子どものお遊戯などを披露できれば地域との接点が増えるのではないかと。
答 敬老会の検討委員会で協議することとしています。

問 介護関連業界では赤字経営の施設も多く、給与面でも安いなど苦労してやっている。町として実態を見て待遇改善の補助などの検討を。
答 物価高、施設の燃料費、光熱

答

まちなかタクシーの運行時間外に、一般のタクシーを利用した場合に、運賃の一部を助成する事業を試行的に始めました。まず、住民防災課で登録してください。町内限定で、自己負担金は一律500円です。65歳以上の高齢者、免許返納者や障がい者などが対象です。

問

藤田駅に電車が停車すると、南北の踏切が閉まってしまふ。西側からも藤田駅に入れるようにすると住みやすくなるのでは。

答

駅の西側だけでなく、町全体をデザインし直す方策を検討したいと思います。ただし、課題は都市計画法という法律です。

問

あつかし歴史館近くの草刈りをする際に、フェンスが邪魔になる。撤去できないか。また、大木戸ふれあいセンターの間に桜の木と残土があり、十分な管理ができない。

答

スポ少代表者、文化団体連絡協議会、体育協会、中学校の校長先生が参加して協議しています。負担金などの維持管理運営費や指導者養成などの課題を議論しています。また、指導を協力いただける方には、お願いしたいと考えています。



問

子どもが遊べるような公園はあるのか。子育て世代は広い公園があると助かるのではないか。

答

観月台公園は子ども向けではないかもしれませんが、もともと広場、つながるむのほか、

答

現状を確認し対応します。町でも毎年草刈りを行い環境整備に努めています。

問

道路上にはみ出した樹木があるから対応してほしいと言ったら、所有者に対応してもらったくださいとの回答でしたが、所有者は高齢でも自分ではできる状態ではありません。

答

道路にはみ出した枝などは、所有者が伐採することが原則です。ただし、困難な事情があれば、所有者の承諾を得て町が緊急的に対応する場合もあります。(相談ください)

問

屋根耐風改修・ブロック塀安全確保事業補助金の創設とありますが、どのぐらいの方が利用したのか。またブロック塀が危険な箇所はどれくらいあるのか。

答

屋根耐風は30件ほど、ブロック塀は20件ほどの申請がありました。町全体の危険箇所は把握していません。

答

遊具はありませんが芝生の上野台総合運動場があります。運動場の開放を検討してもよいと思います。

問

あつかし千年公園の駐車場が遠い。車いすが通れるような遊歩道がほしい。

答

駐車場は、専門家の意見をもとに景観に配慮して現在の場所に設置しました。蓮池の近くに障がい者用の駐車スペースがありますが、利用しやすいよう表示します。なお、堤防改修に併せて車いす用の遊歩道の設置は考えます。

問

私はくにみ学園を評価している。時間をかけて取り組んでいただきたい。教育は広域的に取り組むべきだと思う。

答

教育環境の検討は継続します。他市町村との連携はできないことはありませんのでご意見として持ち帰ります。

問

今後、状況が変わった時に

問

都市計画法・農業振興地域整備計画のため自宅にもかかわらず事務所設置などができず、事業の展開が困難となっています。

答

農業振興地域整備計画は20年ぶりに見直しました。見直しの際には、意見聴取も行っています。都市計画法は建設課、農業振興地域整備計画は農業委員会に問い合わせください。

未来につながるまちづくり

問

上野台体育館は非常に暑く、窓を開けるにも垂直に設置されたハシゴを登らなくては行けない。高齢者には危険なので階段の設置などを検討していただきたい。

答

窓の開閉は施設管理の職員に依頼してください。新たな階段を設置するのは、構造上困難です。

問

幼稚園の運動着、リュックサックが必要かについて質問と要望があったが、小中学校の

答

にみ学園構想は凍結解除しないのか。国見の子どもたちの教育や子育て環境をもう一度ゼロベースで考えることとしました。保護者やこれから親になる人たちの意見交換の場を設けられないか、教育委員会で検討しています。

問

くにみ学園の件で説明会に参加したが、ほとんどが否定的だった。議会は否定ばかりでなく、代案を示すことはできないのか。町民として一緒に考えてほしい。

答

誤解が積み重なるような記事と事務の進め方や説明の仕方に問題があったのかもしれない。まずは保護者たちとの意見交換が先だと思えます。議会のことは議会が判断することです。

問

保護者でもくにみ学園の内容を知らない人もいる。そういう人たちを集めて話をしてもらいたい。

答

ンケートでも幼稚園の制服について聞いたのか。幼稚園の制服、運動着、リュックサックは、幼稚園が統合されるときの統合準備委員会でPTAと話し合って決めたものです。制服と運動着は、今すぐに決めることは難しいため、協議を継続します。ただし、リュックサックは幼稚園保護者を対象としたアンケートを基に役員会で検討した結果、来年度から自由とするにとしました。

問

町長杯の表彰式で、入賞者が名前を呼ばれても返事をしない。子どもがいる中で規範を示すためにも、きちんとした指導をお願いしたい。

答

担当課長へ指示します。

問

中学校部活動の地域移行について、現状を教えてください。地域の方で指導者としてやっていく気持ちのある方を募ってほしい。

答

私たちの説明の機会が少なかったこと、説明が下手だったのかもしれませんが、ゆっくり時間をかけて意見を集約していくこととします。

恵まれた資源を生かしたまちづくり

問

国見町で働ける場所の確保が重要。町でもリモートワークができる環境を整えてはどうか。

答

都市計画法の強い規制が一番の課題です。すぐに企業や工場誘致を進めることは難しいです。一方で、規模は小さいですが個人経営の小規模事業者向けに大坂団地を改修して活用を進めています。4戸中3戸の入居が確定、1戸は調整中です。

問

農業を法人化し、町が主にしり耕作放棄地を活用し、新しい企業を立ち上げるのもひとつの案だと思うが。

答

耕作放棄地は、町の基幹産業の農業の将来のために対応しなければならぬ課題です。そ

【次ページへ続く】

の解消には補助制度もありま
すから、農業委員会を中心に
農業者の意向調査を進め、対
応策を検討します。農業法人
化も同様です。

問 農業も、昔と違って資格や免
許が必要な時代になってきて
いる。資格や免許の取得に対
して補助をするような取組を。
答 新たに町独自の補助制度を設
けました。資格や免許の取得
費補助は、今の制度の中でも
可能だと思えますが、詳しく
検討します。

問 農業も人手不足で大変です。町
の補助金だけでは解決しない。
国の政策転換も必要です。
答 農業後継者の育成には一定の
補助は必要ですから今後も繼
続します。JAには農業所得
を上げる対策を国が行うよう
意見、要望するようお願いし
ています。

問 10年間の国見町のまちづくり
についての計画です。理解い
たいたくために世帯ごとに配布
しました。インターネット印
刷のため1冊300円程度と
格段に廉価で作成しました。
一方、カタカナが多すぎた点
は反省しています。

問 10年間の国見町のまちづくり
についての計画です。理解い
たいたくために世帯ごとに配布
しました。インターネット印
刷のため1冊300円程度と
格段に廉価で作成しました。
一方、カタカナが多すぎた点
は反省しています。

問 広報くにみに町長のコラムが
あるが、個人的なエッセイと
も思えるが。
答 町の事業に参加した町民の様
子や、その時々を感じたこと
をまとめています。広報紙に
コラムを掲載している自治体
の長はいます。近隣では伊達
市長、川俣町長です。

問 10年後、農業従事者が高齢化し
て今までと同じように続けられ
るのか。町は、現状どうだから
こんな未来を描くためのプラン
をこう考えていますと、議員た
ちと話し合っているってほしい。
答 町が決定した方針は議会に説
明します。議会は、町の説明

問 10年後、農業従事者が高齢化し
て今までと同じように続けられ
るのか。町は、現状どうだから
こんな未来を描くためのプラン
をこう考えていますと、議員た
ちと話し合っているってほしい。
答 町が決定した方針は議会に説
明します。議会は、町の説明

相互理解と共感のあるまちづくり

問 議会中継をライブ放送のみで
はなく、アーカイブも行って
ほしい。
答 議会へ伝えます。

問 回覧文書の文字が小さくて読
みづらいので、高齢者に優し
い、見やすいように配慮して
ほしい。カタカナや略字など
分かりにくい単語も多い。
答 回覧などは、読みやすいよう
にできるだけ気を配っていま
すが、文字の大きさなど、さ
らに工夫します。

問 名札を付けていない職員が多い。
服装も含めて徹底してほしい。
答 名札は支給しているので、付
けるように徹底します。身だ
しなみ、対応などについても
研修を行い、徹底します。

問 町内会で要望した箇所は一緒
に見てほしい。
答 が不足していると判断した場
合は常任委員会などを開き、
説明を求めることができます。
そうして相互理解を深め、議
会は議決します。町民も町も
議会も、真ん中にあるのは「町
民」という意識と、国見の未
来への意見を出し合ってまち
づくりを進めたいと思います。

問 匿名でも常に問題を受け付ける
窓口があつて、どんな意見でも
いいのでこの町をどうしたいか
を集め、自分たちで決めたもの
が形になれば良いと思います。
答 名前を明らかにして意見が出
された時は、できる限り応え
ることとしています。難しい
ことは難しいと説明しながら、
次の方法を考えるようにして
います。匿名の場合、対応に
苦慮する意見が多くなります。

問 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。
答 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。

問 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。
答 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。

問 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。
答 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。

問 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。
答 声なき声を集めるため、住民同
士、行政、町全体が意見を交
わせる場があればいいと思っ
ています。もっと情報を広げ
てほしい。

問 まず、要望箇所を一緒に見る
よう指示しています。その上
で、上司や専門業者に相談し
て対応策を検討するようにも
指示しています。徹底します。
答 赤い羽根募金など、町で寄付
しているのだから町内会では
寄付しなくてもよいのではな
いか。

問 募金はその趣旨に賛同して行う
ものです。町内会費の中で協賛
金として寄付している町内会と
さまざまです。一概には言えな
いところがあります。
答 赤い羽根募金など、町で寄付
しているのだから町内会では
寄付しなくてもよいのではな
いか。



問 て伝えてほしい。
広く情報発信、意見交換でき
るよう努めます。
答 意見箱を設置してはどうか。
意見箱を設置するのは良いの
ですが、名前が明記されてい
ないとより深い意見の交換が
難しいことがあります。双方
向の仕組みを考えないと、町
の真意が伝わりにくく難しい
のではないのでしょうか。

問 官民共創コンソーシアム「カ
ブコ」は現在もあるのか。
答 今年3月末の時点で解散して
いるため、現在は機能してい
ません。

問 第三者委員会は現在まで何回
会議を開いたのか。
答 2回開催しました。

問 第三者委員会のメンバーは。
弁護士1人、大学教授1人、短
大の教授1人の3人です。名
前は新聞でも公表されていま

問 社会福祉協議会への寄付とし
て1戸当たり1000円、町
内会長は2000円だが、こ
の金額の根拠は。会長だから
と金額の設定をするのは今の
時代にあつていない。
答 社会福祉協議会の特別会費に
ついては、役付きの方にお願
いしてきた経緯があり、町内
会長にも同様に特別会費をお
願いしています。(社会福祉協
議会回答)

問 町内会への補助について、備
品への補助はないのか。
答 集会施設の新築、増改築など
への補助はありますが、用地
取得、設計、備品購入などの
経費の補助はありません。地
区で対応ください。

問 総合計画の冊子を各世帯に配
布しているが、立派な冊子で
もつたないのでは。年配の
方に横文字は難しい。
答 すので、ご確認ください。(そ
の後、2人が辞任)

問 第三者委員会の委員のうち2
人が辞任したことについて、町
はどのように捉えているのか。
答 第三者委員会では、町として答
えられることや町が知り得た事
実は答えていました。また、辞
任した委員からは、その理由は
「身上の都合」としか聞いて
いません。なお、第三者委員
会は後任の委員が決まり次第、再
開します。(その後、後任の委
員は弁護士と大学教授に委嘱す
ることが決定しました)

問 町民は、新聞やテレビで見た
内容を真実だと受け止めるし
かない。第三者委員会でも「町
の不誠実な対応により調査の
継続は困難」として辞任した
と新聞で読んだ。町民に対し
て丁寧に説明したほうがよい
のではないか。
答 新聞報道では、辞任した委員
が町は情報を出していないか

問 新聞報道では、辞任した委員
が町は情報を出していないか
【次ページへ続く】

のような発言をしているようですが、町は提出できる資料については提出しています。事実を説明するという町の姿勢は変わりません。

今回の問題を第三者委員会に諮ること自体間違っていたのではないかと。私たちは早く決着してほしいし、早く決着できるように進めてほしい。

問題があったとすれば何が問題だったのかを、町にも議会にも与しない中立的、客観的、専門的な視点から検証し、同じことを繰り返さないためにも委員会設置は必要だと思っています。

過疎地域持続的発展計画とはどのような計画か。また、どのような事業を展開するのか。

第6次総合計画の6つのまちづくりに沿って12項目を定め、町に住んでいる人たちの生活を良くする事業と移住定住などの事業で、補助事業や他の起債事業でできない多くの事業を計画し

町は陽と人に限らず、民間事業者への補助制度を設けて応援しています。

地域おこし協力隊の農業部門の状況は。

募集中です。東京での相談会に参加した幾人かは、国見町を視察しています。移住が進むよう面談をおして見極めています。

聖光学院高等学校との連携協定の内容はなにか。

町、高校、高校生と一緒に事業をしたり、情報交換したりしながら、双方で人材育成をしていくことが目的です。

町が呼びかけても集まらない。タウンミーティングに来ない人、声を上げない、意見を出さない人の意見を聞いてみたい。方法を考えないといけないのではないかと。声の大きな人の意見ばかりが取り上げられるのはおかしなこと。参加できなくても意見

ています。過疎債は国が7割まで返済分を負担してくれるので事業を進めやすくなります。

令和4年度一般会計決算の不認定について、これはどういうことなのか。

議会は、昨年の歳入歳出を認めないということと。高規格救急自動車とくにみ学園の予算は議決したものの、新聞報道と監査委員の意見書、事業に対して疑義があったため不認定としたものと思います。

責任者としてはどう考えているのか。

町と議会、町と町民、まちづくりを一緒に進める企業との関係を見直さなくてはならないと思います。また、責任者としては、現在第三者委員会に中立的、客観的・専門的な視点から検証をお願いいたしますから、その結果が出た時点で考えたいと思います。

を持っていく人がいるかもしれない。決定的な対応策はわかりません。アンケートや町のホームページと併せ、小規模でも、根気よく、対面型の意見交換は続けていきます。

町政の報告と町民から直接話を聞く機会を作ることは大変なことだと思う。町民のために何をすべきかを本当に分かっている議員が少ない。地元紙が問題にしているのに、なぜ河北新報が必要以上に国見町を記事にしているのか疑問。

町は、主権者の皆さんが何を考えているのか町民の方が何を考えているのか、もっと聞きたい。もっと皆さんから意見を聞かせていただくための機会を増やしていきます。

トップセールスとは具体的に何をしているのですか。

現在は「トップセールス」ではなく「町のPR事業」と言っています。農産物のPRが主

河北新報の報道がなければ、救急車のレンタル事業を始めていたと思うが、町長は変だと思わなかったのか。

内閣府が認めた事業計画です。一般論ですが、町が仕事を発注するとき、町は受託者が誠実に仕事をするという前提でお願いしています。その延長にあったものと思います。

町として生きるまちづくり

移住者向けの制度拡充について、町外、県外にどのように発信していくのか。

拡充した内容は、他の自治体では例のない思い切った内容です。発信は、県の移住定住サイト、町のホームページに掲載しています。今年度、専属の係を設置して発信を強化しています。

もともと町に住んでいる人の家を建てたいという人には何も支援がないので、何か補助

です。北海道ニセコ町、岩手県平泉町、栃木県茂木町、岐阜県池田町のほか歌舞伎座などでも行っています。また、出店要請があればその都度検討しています。

国見ブランドがあるのか。また、桃の場合であれば近隣と一緒にPRしたほうがいいと思うが。

昨年度から国見町のロゴマーク、コピーなど、国見ブランドの検討をしています。PRは、県、農協、近隣市町と連携して行う場合もありますし、補助金を活用して単独で行う場合もあります。

国見町は人を集める施策を行っているが、日本全体で人口が減る中で、国見だけが増えるのか。増えることはいいが、減った場合の対策を考えているのか。

平成27年に人口減少のスピードを緩めるための計画を作りました。今、国見町に住んで

することはできないのか。町民が、親から独立して町内に住居を構える場合の補助も検討を進めます。

桑折町は「住みたいまち」ランキングで福島県第2位となっている。どうやって桑折町に近づけるのか。

民間の住宅供給会社のアンケートと聞いています。国見町には不動産業者がいない、桑折町の中心部の空き地は間を置かず売買されますが国見町はそうでないと感じます。町が住宅供給策を検討する必要があります。

町は商工会と連携して観光マップなどを作成し、商店街の活性化につなげてほしい。

マップは作成しています。まちめぐりは、町、商工会、関係団体と連携して行っています。

陽と人との連携は。

【次ページへ続く】

いる人の生活の質や福祉を大事にしながら、これから国見町に住もうと思っている人たちに国見の良さを伝える政策が必要です。町民と町、協働してまちづくりを進めたいと思います。

国見にふるさと納税されなくなってしまうのではないかと。

一般のふるさと納税と企業版ふるさと納税は違います。町への一般のふるさと納税額は、この2年増加し、2億円を超えています。





祝 国見町チーム初の準優勝 市町村対抗福島県ソフトボール大会

第10回市町村対抗福島県ソフトボール大会が、10月に相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開催されました。国見町チームは町のチームとして初めて決勝へ進出。伊達市チームに4対3で敗れてしまいましたが、見事準優勝を果たしました。

昨年、初のベスト4を賭けた矢吹町戦で悔しい逆転負けを喫した国見町チーム。選手も応援席も勝利を確信していた試合の敗戦に、チームは雪辱を果たすべく冬の寒い時期から練習を実施しました。前回大会で悔しい思いをした国見町チームはこの日のために練習を重ね、町民の皆さんに勇気と元気を与える力強いプレーを見せてくれました。



準優勝の報告に国見町役場を訪れた国見町チームの皆さん

■ 各試合の成績

2回戦	1回	2回	3回	4回	5回	計
国見町	3	0	0	5	1	9
白河市	0	0	1	0	1	2

3回戦	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
国見町	0	0	0	1	0	0	1	2
会津若松市	0	0	1	0	0	0	0	1

準々決勝	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
矢吹町	0	0	0	1	0	0	0	1
国見町	0	1	3	2	0	0	×	6

準決勝	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
国見町	0	2	0	4	0	0	0	6
郡山市	0	0	0	0	1	0	1	2

決勝	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
伊達市	0	0	0	1	0	2	1	4
国見町	1	0	0	0	0	0	2	3

決勝戦は、伊達市との県北地区同士の対決となりました。国見町は初回にフォアボールの押し出しで1点を先制することができましたが、4回に同点に追いつかれると、6回に2点を取られ逆転を許しました。国見町は6回まで毎回ランナーを出しますが得点には結びつかず、最終回にはさらに伊達市に追加点を許しました。3点を追う国見町は代打の中木秀悟選手がライトへの2点タイムリーを放ちますが、あと一步及ばず3対4で準優勝という結果に終わりました。

ハル通信
-Halu News-
第15回

放課後塾ハル主催
まちにあふれる「好き」がまるっと、ぎゅっと集まるイベント
スキフェス 2023 を開催します！

—「好き」という気持ちは全ての人たちのココロを動かす。誰もがそれを自由に表現できる。「好き」でつながるイベントが、いま始まる。—

放課後塾ハルの中学部にてプロジェクト型の学習を中心に行っている「見晴るかすコース」に通う生徒たちが企画運営するイベント。

子どもから大人まで100人を集めるビックイベント！
町にあふれる「好き」がまるっと、ぎゅっと大集合。
子どもも大人もワクワクする瞬間を提供するイベントが開幕します。

各種 SNS で、イベントの詳しい情報を配信中です！
フォロー、いいねをお願いします！



【告知動画】



【公式 Instagram】



【公式 note】



日 時：12月23日(土) 午後1時から午後5時
※途中参加・途中退出OK
会 場：Co-learning Space アカリ
〒969-1771 福島県伊達郡国見町山崎館東14-8
参加費：無料

QRコードを読み取り、
フォームより申し込みください▶



【申し込みフォーム】

放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。
ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email:hokagojuku.halu@gmail.com
TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442
※12:30~21:30 土日祝日、年末年始を除く。

国見の民話

かるた

【第八回】
河童堀

「牙と姓くれて河童の思返し」

北山に行くところに、深くなって、大きくえぐられて、河童堀という堀があります。そこのお話。むかしむかし、堀の近くに、いたずらばかりしている河童がいました。その河童が、ついに捕まえて殺されそうになったところを、近くの家の住人が助けてあげました。すると、河童がそのお礼にと、宝物にしていた「竜の牙」と「吉田」という姓を主人に贈ったそうです。

それからは、その堀を河童堀と呼ぶようになりました。河童から吉田の姓をもらった家は、二十代以上も続いているのだから、これはとても昔の話です。

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



これからの文化財の維持管理、活用について

国見町の指定文化財について

町には40件の指定文化財があります。どれも国見町で綿々と受け継がれてきた「町のたからもの」であることは間違いありません。

町では、歴史まちづくり計画の認定により、「歴史を活かしたまちづくり」を政策の大きな柱と位置付け、その後歴史文化基本構想でも、歴史・風土・生業・資源・信仰などそれぞれの関連文化財群の保存や活用について方針を定めています。

しかし、文化財を考える上での大きな課題の一つとして、これらをどのようにまちづくりに活かし、どのような形で後世の人々に町の歴史遺産を残していくのか、それらを考えなければなりません。



旧小坂村産業組合石蔵は2度の地震で大きな被害を受け除却を余儀なくされました

私たちの「地域らしさ」(アイデンティティ)をどう魅せるか

歴史的遺産は、その地域に住む人々にとっては、故郷を形成する重要な要素であり、自分たちが住む町の「地域らしさ」(アイデンティティ)の源となります。

よって文化財をまちづくりに生かしていくということは、故郷の魅力をいかに活用し、発信するかを考えなくてはなりません。

国史跡「阿津賀志山防塁」は、町を代表する文化財です。しかし意義深いこの史跡も、華やかな城郭や美しい町並みなどと比べれば、魅力や集客力に限界があることは否めません。文化財を郷土の誇りとして、町民に受け入れてもらうためにはどのようなことが必要なのか、またどうしたら集客を図ることができるのか、この課題の答えを見つけることは容易なことではありません。



阿津賀志山の裾野に広がる田園風景は、町民の皆さんの心に残る、故郷の原風景です

阿津賀志山防塁と中尊寺ハス

しかし、この課題解決の一つのヒントとなったのが、平成21年に「中尊寺ハス」が、平泉町から「阿津賀志山防塁下二重堀地区」の近くに株分けされたことです。

古来から交通の要衝であるため古戦場となった国見町の「地域らしさ」である「阿津賀志山防塁」と全国的なネームバリューをもつ奥州藤原氏が「中尊寺ハス」という物語とともに、平泉町からもたらされ、双方の歴史的遺産が、上手くマッチし成功した事例です。もちろんハス育成にかけた地域の方の尽力があったことは言うまでもありません。

今では、この地区は年間1万人近くが訪れる町を代表する観光地に変わりました。町では、引き続き地域の皆さまと連携し、歴史的遺産が持つ「チカラ」をさまざまな手法によって引き出すことに取り組んでいきます。



中尊寺ハスと阿津賀志山防塁のコントラストが人々を魅了します

— Activity Report —

Vol.40

地域おこし協力隊活動日記



伊藤 愛 (Ai Ito)

「エリアデザインラボ2023」のこれまでについてこちらの記事をご覧ください (令和5年広報くみにみ11月号10ページ)



こんにちは！4月から活動している関係人口創出チームの伊藤です。6月からスタッフとして関わっているまちづくり実践講座「エリアデザインラボ2023」ですが、11月23日に観月台文化センターで活動報告会を迎えることができました。当日ご覧いただいた皆さまならびに継続的に国見町に関わり続けてくださっているラボメンバーの皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。

今年は町内外の高校生や大人29人のメンバーを迎え、遊休化しつつある「藤田駅前広場」の活用について、アイデアを出し合ってきました。国見町やまちづくりに興味関心のある幅広い世代のメンバーが集まり、意見交換や交流できる場となっていた「エリアデザインラボ2023」。町民の皆さまに向けた活動報告会の実施は今年が初めての試みでしたが、ラボの取り組みを知っていただく、とても貴重な機会となりました。「エリアデザインラボ2023」の活動は2月まで続きますので、引き続きよろしくお願いたします！



寸劇を交えた報告会の様子



大道具などを用いた舞台づくりを工夫し雨風をしのげる屋根をその場で表現しました



『うさぎかな』
菊地 陽夕



『きょうりゅうじだい』
阿部 玄徳



『かわいいうさぎといい気持ち』
実沢 果林



『鳥とぼくの大ぼうけん』
五十島 尊

国見小学校 (2年生)

心豊かな子どもたち

元気に長生きしてください

斎藤清さん・熊坂キヨさん 100歳のお祝い

100歳を迎えた斎藤清さん、熊坂キヨさんへの県知事賀寿と町敬老祝金の贈呈式が11月19日、国見の里で行われました。引地真町長が知事賀寿、敬老祝金、花束をそれぞれ手渡し、斎藤さんと熊坂さんの100歳を祝いました。

斎藤さんと熊坂さんは、お二人とも11月18日が誕生日。贈呈式当日は、同席したご家族たちがお二人の長寿をお祝いしました。いつまでもお元気でお過ごしください。



100歳を迎えた斎藤清さん（左）と熊坂キヨさん（右）



国見の味自慢を求めて多くの人が訪れました

国見町の農産物をPR

岐阜県と岩手県で農産物をPR販売

国見町は、11月3日に岐阜県池田町の「みの池田ふるさと祭」、11月4日から5日に岩手県平泉町の「ひらいずみ産業まつり」に参加。キラキラ収穫隊の生産者が、リンゴやラフランスなど秋の農産物を中心に、六次化商品など町の特産物をPR販売しました。

いずれの町でも国見町の農産物は大好評で、販売が始まると、用意した商品はすぐに完売しました。

仲間を信じてタスキをつなぐ

第35回ふくしま駅伝

第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月19日、白河市総合運動公園陸上競技場から県庁までの16区間、96.3kmで繰り広げられました。県内市町村から53チームが出場し、晩秋の福島路を駆け抜けました。

国見町チームは各選手が粘り強い走りでタスキをつなぎ、6時間12分37秒で総合46位、町の部では23位の成績を収めました。



力強い走りを見せた5区の齋藤真裕さん（左）



地域みんなで絆を深めました

世代をこえて楽しく交流

小坂地区で大運動会

小坂地区スポーツ振興会主催の小坂地区大運動会が11月5日、小坂ふるさと館グラウンドで4年ぶりに開催されました。運動会には子どもからお年寄りまで、幅広い世代の皆さん約100人が参加。町内会ごとに分かれて綱引きや三世代リレー、玉入れなどがチーム対抗戦で行われ、会場にはチームに関係なく、選手を応援する大きな声援が響きました。

おいしい給食をありがとう

くにみ幼稚園児が給食センターを訪問

くにみ幼稚園年長組の園児が11月21日、国見町給食センターを訪問しました。始めに、栄養技師の蓬田麻衣さんから給食センターの設備や調理方法についての説明がありました。その後は、実際に使用されている大きなヘラを持ったり、実際の調理風景を見学するなど、給食についての理解を深めました。見学した園児たちは「鍋が大きくてびっくりした」「給食を残さずに食べようと思った」と話していました。



給食センターの職員にお礼のプレゼントを渡す園児たち



優秀賞を受賞した赤根大河さん

ともに支え合う福祉のまちづくり

赤い羽根共同募金運動スローガンで優秀賞

社会福祉法人福島県共同募金会が主催する赤い羽根共同募金運動スローガン募集の表彰式が11月8日に国見小学校で行われました。国見小学校3年の赤根大河さんは「赤い羽根やさしい気持ちをはこんでね」で優秀賞を受賞。賞状と記念品が贈呈されました。赤根さんは「みんなの温かい気持ちを羽に乗せることに例えた。みんなにその心が届いたらうれしい」と受賞の喜びを述べました。

小坂の新そばを堪能

第16回小坂そばまつり

小坂まちづくりの会主催の第16回小坂そばまつりが11月26日、小坂農村総合管理センターで開催されました。事前予約分の100食が完売し、当日販売分が急遽準備されました。

当日は町内外から多くの人々が来場し、おいしい新そばに舌鼓を打ちました。来場者は小坂産の風味豊かなそばを堪能したほか、手作りの手芸品を買い求めるなど、そば祭りを楽しみました。



多くの来場者で賑わった会場



表彰状を受け取った羽根田ヒサさん

地域の社会教育振興に寄与

東北地区社会教育委員連絡協議会表彰

東北地区社会教育委員連絡協議会表彰を受賞した、羽根田ヒサさんへの伝達が11月10日に観月台文化センターで行われ、菊地弘美教育長から表彰状が伝達されました。

羽根田さんは、平成27年から現在まで国見町社会教育委員として尽力され、平成31年には伊達地方社会教育委員連絡協議会の理事を務めるなど、伊達地方の社会教育の振興にも寄与されました。



ニコニコ相談会

- 実施日** 令和6年2月21日(木)
- 時間** 午前10時～午前11時30分
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 令和6年2月22日(金)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和5年10月生まれ)
9か月児(令和5年4月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

3歳6か月児健診

- 実施日** 令和6年2月8日(木)
- 受付時間** 午後1時30分～午後1時45分
- 会場** 森江野町民センター
- 対象者** 令和2年5月1日～
令和2年7月31日生まれ
- 持ち物** 母子健康手帳
- 内容** 医師の診察、身体測定、視力・聴力検査など

『ももさぽ』相談の一む

役場の1階にあります。妊娠中のことや育児のことなど、助産師、栄養士、子ども家庭支援員と気軽にお話しできる部屋です。(ほけん課保健係にお声掛けください)



ほけんだより

— Health topics —

☎ほけん課 保健係 ☎585-2783
✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

国見町健康ポイント事業にご参加ください!

「国見町健康ポイント事業」は、毎日の運動や食生活、各種健診受診、社会参加などのさまざまな健康づくりに取り組み、「健康ポイント」を集めるものです。ポイントを集めると「ふくしま健民カード」がもらえます。そのカードを県内の協力店で提示するとさまざまな特典が受けられます。

おうちでできる健康づくりにチャレンジして、お得な特典をゲットしましょう。

■対象者 18歳以上の国見町民(高校生を除く)

■参加方法

- ①ほけん課保健係の窓口で「国見町健康ポイント事業 記入台紙」を受け取ります。
- ②台紙の項目に従って健康づくりを行い、ポイントを記入します。
- ③ポイントが集まったら、ほけん課保健係に持参ください。ポイントに応じた「ふくしま健民カード」と抽選で福島産米などが当たる「プレゼント応募はがき」をお渡しします。

■実施期間 令和6年3月8日(金)まで

※ふくしま健民カードや協力店の詳細については、健康ふくしまポータルサイトをご確認ください。



詳しくはこちら



食育シリーズ



■町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が出向いて、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。10月・11月の食育内容をご紹介します。



育てたさつまいもでカレーを作ろう(年長児)



新米でおにぎりを作ろう(全員)

院長先生の診察室から

【第25回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

令和5年も終わりが近づいてきました。皆さんにとって、今年はどうな年でしたか?年を取ると、1年がたつのは早いと感じますね。子供と大人では時間の感覚が異なり、時間の長さに対する体感年齢と逆比例するという、ジャーネーの法則があります。子供と大人では、時間の感覚が違っていると実感します。新しい事に触れる機会の多い子供は1日が長いのです。大人も、好奇心を持って新しいことに触れて、脳を活性化して、認知症を予防したいですね。

さて、コロナ感染症が発生してからすでに4年が経過しました。医療関係者にとっては、長く感じられます。第9波は落ちつきましたが、流行する感染症はインフルエンザを筆頭に、いろいろあります。油断せず、体調管理に注意し、感染対策(手洗い、うがい、マスク)を適切に行ってください。

冬が来て、寒さが厳しくなります。風呂場やトイレでの、ヒートショックには十分注意してください。また、転倒・骨折が増える季節です。病気ではないが、年齢と共に体力・気力が低下して、虚弱になってしまう事をフレイルと呼びます。フレイルの予防のポイントは、栄養、運動、人とのつながりですので、意識して行動しましょう。

来年度の初期研修医は7名の採用が決定しました。病院にとって明るいニュースです。

令和6年が、皆さまにとって、良い年でありますように、祈っております。

図書館へ行こう

第6回子ども司書講座「おはなし会・親子選書会」

子ども司書講座が11月3日、受講生3人と保護者・兄弟5人が参加し行われました。始めに、「福島子どもの本を広める会」の瓶子美千子先生による「おはなし会」を鑑賞し、絵本の読み聞かせや小道具を用いたわらべうたを楽しみました。

親子選書会では、書店から搬入した約500冊の本の中から思い思いの本を選書しました。



子ども移動図書館「鑑賞教室」

国見小学校の1から3年生を対象にした子ども移動図書館の鑑賞教室では、子ども移動図書館指導員によるエプロンシアター「△□なーにかな？」を鑑賞しました。

児童は、お話に合わせてポケットから出てくるパーツに目を輝かせながら、指導員の問いかけに答えていました。



クリスマス企画展示 ～ワクワク・ドキドキお楽しみがいっぱい～

国見町図書館前に「サンタさんからの楽しみ本」コーナーを設けました。利用者の皆さんが選んだお薦め本を、クリスマスプレゼントに見立て包装し貸し出します。大人向け、子ども向けを取り揃えていますのでぜひご利用ください。

期間 12月5日(火)から12月25日(日)

その他 お楽しみ本は1人3冊まで



コンサートのお知らせ

日時

令和6年1月20日(土)
開場：午後2時30分
開演：午後3時

場所

国見町観月台文化センター

入場料

【一般】
2,000円(当日2,500円)
【高校生以下】
無料 ※要チケット

チケット販売開始

12月11日(日)
午前9時から



日時

令和6年3月3日(日)
開場：午後6時
開演：午後6時30分

場所

国見町観月台文化センター

入場料

2,500円(当日3,000円)
※全席指定

チケット販売開始

令和6年1月6日(土)
午前9時から



▲みんなで楽しくおやつを食べました

おいしいおやつに笑顔あふれる 国見っ子わんぱく広場「おやつ作り」

11月11日の国見っ子わんぱく広場の第7回活動では、「おやつ作り」を行いました。

「餃子の皮ピザ」ではベーコンやチーズ、ピーマンなどを色とりどりにトッピングし、火加減を見ながら焼き上がり待ちました。

「ヨーグルトパフェ」では、カップにフルーツや生クリーム、クッキーを乗せて完成させ、みんな笑顔でおやつ作りを楽しみました。

▶ Lifelong-Learning

生涯学習通信

国見町教育委員会生涯学習課(観月台文化センター)

☎ 585-2676 Fax 585-2707

E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp



▲伊達巻作りに挑戦

郷土料理を親子で学ぶ 親子クッキング教室

11月18日に親子8組17人が参加し、お正月の食卓に欠かせない「いかにんじん」や「伊達巻」、「お煮しめ」の作り方を、食生活改善推進員の皆さんと管理栄養士から教わりました。

国見町で受け継がれてきた郷土料理を親子で学びながら調理し、国見産の新米と一緒に味わいました。



▲幅広い年代の選手たちが健脚を競いました

秋晴れのもと国見を駆ける 第47回国見町駅伝競走大会

10月29日、上野台運動公園総合運動場を基点とし、6区間11.8kmを駆け抜ける第47回国見町駅伝競走大会が開催されました。

今大会は14チームが出場し、各チームが優勝を目指し力走しました。

レースはコロナ禍の影響で4年ぶりの参加となった「公立藤田総合病院」が終始上位をキープし、みごと優勝に輝きました。また、仮装でレースに臨んだ「県北浄化センター」には盛り上げたで賞が贈られました。



▲総合展示では各団体の力作が勢揃いしました

各団体の多彩な活動発表 第52回国見町文化祭

「ダンスパーティー」や「総合展示」が行われ、総合展示では国見町文化団体連絡協議会に加盟する団体から出展がありました。

また、神楽や読み聞かせ、人形劇など多くの活動発表が行われました。

お知らせ

マイナンバーカード申請等の休日臨時窓口について

マイナンバーカードの申請、受取、更新のための休日臨時窓口を開設して...

放送大学入学生募集

放送大学は、4月入学生を募集しています。幅広い世代の約8万5千人以上の学生が...

いません。 町内民防課戸籍係 ☎585-2115

事業用資産をお持ちの方は償却資産の申告が必要です

町内で会社、商店、農業、不動産などの事業を行って...

国見町総合型地域スポーツクラブの名称選定投票

国見町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会では、「いつでも」「だれでも」...



【掲載場所はこちら】

はたちの成人のつどい

令和6年1月7日(日)に「はたちのつどい」を開催します。対象者の方へ案内状を送付します。

生涯学習課 ☎585-2676



町の奨学生募集

町では、経済的な理由で就学することが困難な方に無利子で奨学資金の貸付をしています。

修学資金

- 貸付額 (月額) 高校：2万円以内 高専：3万円以内 大学（短大、専門学校等）：4万円以内...

入学支度金

- 貸付額 高校、高専：20万円以内 大学（短大、専門学校等）：30万円以内...

申込方法

- 提出書類 (1)奨学生願書 (本人記入、連帯保証人、保証人連署必要) (2)奨学生推薦調書 (学校記入)...



【専用フォーム】

紙に必要事項を記入の上、投票場所へ持参してください。また、QRコードの専用フォームからも投票を受け付けています。

12月10日から16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間です

1970年代から80年代にかけて北朝鮮により多くの日本人が拉致され、現在17名が拉致被害者として認定されています。

「2024年版福島県民手帳」の販売

県内の観光施設や道の駅で使える特典付きの「2024福島県民手帳」を販売しています。

12/8 金	・いきいきサロン第8・9 (午後1時30分～)
9 土	・国見町体育協会主催「小学生・中学生野球教室」 ・子ども司書活動「子どもの読書活動推進フォーラム練習」
10 日	・第24回国見町青少年健全育成推進町民大会
11 月	・教育委員会定例会(午後5時15分～・親月台文化センター)
12 火	
13 水	・いきいきサロン第3 (午後1時30分～) ・イキイキ子育てクラブ ・いきいきサロン藤田 (午前10時～) 耕谷 (午後1時30分～)
14 木	・子ども移動図書館1年生 ・戸籍係窓口延長 (午後7時まで)
15 金	・いきいきサロン大木戸 (午後1時30分～) ・くにみ親月台カレッジ全体学習「年忘れ落語を聞く会」
16 土	・子ども司書活動「子どもの読書活動推進フォーラムリハーサル」
17 日	・子どもの読書活動推進フォーラム ・くにみもたん広場 クリスマス会
18 月	・いきいきサロン大枝 (午前10時～) 泉田下 (午後1時30分～)
19 火	・いきいきサロン山根 (午前10時～) 徳北・第7 (午後1時30分～) ・子ども移動図書館 (3年生)
20 水	・いきいきサロン貝田 (午前10時～) 第1 (午後1時30分～) ・ニコニコ相談会
21 木	・いきいきサロン泉田中 (午前10時～) 第2 (午後1時30分～) ・ブックスタート ・3・9か月児健診 ・心配ごと相談 (午前9時～正午) ・戸籍係窓口延長 (午後7時まで)
22 金	・いきいきサロン源宗山 (午前10時～) 光明寺 (午後1時30分～)
23 土	・冬休み学習会① ・国見っ子わんぱく広場「冬休み特別活動」
24 日	・マイナンバーカード休日臨時窓口 (事前予約制) ・結婚世話やき人月例相談会 (午後1時～午後3時) ・いきいきサロン板橋 (午前10時～) 高城 (午後1時30分～)
25 月	・冬休み学習会② ・英検対策講座 (～26日)
26 火	・いきいきサロン石母田 (午前10時～) ・冬休み学習会③
27 水	
28 木	
29 金	・親月台文化センター休館日 (1/4まで)
30 土	
31 日	
1/1 月	
2 火	
3 水	
4 木	・いきいきサロン塚野目 (午後1時30分～) ・戸籍係窓口延長 (午後7時まで)
5 金	・いきいきサロン内谷・鳥取 (午前10時～) 第4 (午後1時30分～)
6 土	
7 日	・はたちの成人のつどい
8 月	・成人の日 ・出初式

1月の休日当番医 (診療時間：午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
1日 (元日)	北福島医療センター (伊達市箱崎東 23-1)	☎ 551-0551
2日 (休日)	さとうファミリークリニック (伊達市保原町上保原中島 8-5)	☎ 574-2811
3日 (休日)	北福島医療センター (伊達市箱崎東 23-1)	☎ 551-0551
7日 (日)	(医) 桑名医院 (伊達市片町 41)	☎ 583-3024
8日 (成人の日)	(医) 村上医院 (国見町藤田北 11-1)	☎ 585-2152
14日 (日)	さとう整形外科内科クリニック (伊達市保原町東野崎 70-1)	☎ 572-7606
21日 (日)	(医) すずき医院 (伊達市保原町西町 175)	☎ 575-2563
28日 (日)	(医) 武田小児科 (伊達市保原町字栄町 51)	☎ 575-2439

【休日救急歯科診療】 (日・祝)
 受付時間：午前9時から午後4時30分まで
 場所：福島市保健福祉センター (福島市森合町 10番1号)
 ※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

10月21日～11月20日受付分
 【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 誕生おめでとう ●

本間 朱莉ちゃん (山崎宮館)
 悠人さん 茉朋さん

● おくやみ申し上げます ●

玉手 英子さん	88	(中部)
村木 一郎さん	85	(大町北)
佐久間敏雄さん	91	(第1)
八巻千代子さん	73	(藤田宮前)
佐藤 キミさん	92	(前田)
伊東 美代さん	96	(山崎耕谷)
小池 幸吉さん	88	(第3)
板橋セツ子さん	90	(並柳)
安藤 ヨシさん	95	(前田)
佐藤 昭さん	96	(貝田)
佐藤 栄寿さん	86	(泉田上)
菅野 カツさん	89	(内谷東)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和5年10月31日現在

※住民基本台帳人口 (前月比)

人口	8,232 (-14)	転入	10 (-2)
男	3,966 (-7)	転出	12 (+1)
女	4,266 (-7)	出生	0 (-5)
世帯	3,376 (-13)	死亡	12 (-4)

広報くにみ 11月号の訂正

広報くにみ 11月号 19ページに記載の「生涯学習通信」において、誤りがありました。正しくは次のとおりですので、以下のとおりお詫びして訂正させていただきます。

■訂正箇所
 【誤】熊坂瑛都 選手⇒【正】熊坂瑛郁 選手

今月の納期限は 12月25日(月)

町税等の納付は『口座振替』が便利です

町県民税 (普通徴収) 【第4期】
 国税務課課税係 ☎ 585-2778 税務課収納係 ☎ 585-2780

国民健康保険税 (普通徴収) 【第6期】
後期高齢者医療保険料 (普通徴収) 【第5期】
 国ほけん課国保係 ☎ 585-2785

介護保険料 (普通徴収) 【第6期】
 福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125

- ・振替口座の預貯金残高を前日までに確認してください。
- ・コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリからの納付も可能です。
- ・QRコードが印刷されている納付書は「地方税お支払サイト」から電子納付が可能です。詳しくは町HPをご確認ください。

広告掲載

広告掲載

町営住宅・定住促進住宅の空室状況をお知らせします (令和5年11月末)

定住促進住宅	1部屋	滝山団地	3部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	空室なし

建設課管理係 ☎ 585-2972

戸籍窓口から年末年始のお知らせ

12月28日(木)の戸籍窓口は延長を行わず、午後5時15分で終業します。ご利用はお早めにお願います。

年始は1月4日(木)に戸籍延長窓口を証明書発行のみ午後7時まで開設します。

住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115

夢に向かって

たくさんの人を元気づけられるように――

大内 ^{みはな}美花 さん (県北中3年)

第20回



私の将来の夢は、絵に関わる仕事に就くことです。イラストレーターのような仕事にも興味があります。子どもの頃は絵を描くことがあまり好きではなかったのですが、小学5年生の時に友人に絵の描き方を教えてもらい、少しずつ絵が上手くなったことがきっかけで、絵を描くことが好きになりました。今では、大切な趣味のひとつになっています。

絵の魅力は、以前に描いた絵を自分で見返すと、実際に目で見て成長を感じられること。また、楽しい時や悲しい時など、自分の感情を絵で表現できることです。

今は受験勉強もあるので、志望校合格を目指して毎日勉強に集中しています。以前のように好きな時に好きな

だけ絵を描くことは難しくなっていますが、描きたいと思った時には少しでも絵を描いて、絵を描くことが嫌いにならないようにしています。

今後は人体の構造などもきちんと勉強して、よりリアルな人物を描けるようになりたいです。SNSなどでも作品を発信してみたいです。大勢の人の目を惹いて、見た人を元気づけられるような作品を描けるよう、高校生活やその先でもいろいろな人生経験を積みたいと思っています。絵を描くことの面白さを多くの人に伝えていけるように努力を続けていきます。



町長コラム

ま 真こらむ

【第29回】

真っ白い心と育む理由

台詞が出てこない子にそっと教えてあげる子、途中で泣き出した子を励ます子、失敗しても縄跳びを最後までやり遂げる子、笑顔で先生とハイタッチしながら教室へ戻る子、お母さんやお父さんに手を振る子…。

幼稚園の「せいかつはっぴょうかい」。新型コロナウイルスのことがあったから、初めての参観。ロバ、ネコ、タヌキ、カラス、海賊、ピクミンに扮した子たちが精一杯自分を表現するのを見ながら考えた。彼らも幼稚園という集団の中でケンカもするし、思うようにいかない自分や友だち、先生への怒りや苛立ちはあるんだろうな。でも、それらを出し尽くしてしまうと、ケロツとした顔で仲直りしたり、素直に言い付けを聞いたりするんだろうな。子どもたちの、何かに染まらない真っ白い心、純な心持ち。そのあり様、尊さを想像した。感じた。心に刻んだ。

子どもと一緒に先生たちも奮闘。演技指導、子どもたちの衣装、被り物、背景といった大道具の準備など、全て自分たちで行った。劇中の選曲も秀逸。“We Will Rock You(Queen)” “ロッキーのテーマ(サウンドトラック)” “アイドル(YOASOBI)” “できっこないをやらなくちゃ(サンボマスター)” など。

先生たちの頑張りには「仕事だから」だけではない、聞いたらきっとグツとくるワケがある。舞台袖で見守ってた先生の表情が、子どもたちの発表が終わった途端、パッと輝くのを見て確信。

で先生、この日の昼ご飯は格別だったよね。 引地 真

